

執筆者紹介

■佐々木 重人

専修大学学長。1978年専修大学商学部会計学科卒業。1983年専修大学大学院商学研究科博士後期課程単位取得満期退学。博士（経営学）。1983年専修大学商学部助手。1988年同助教授。1995年同教授。2013～2016年商学部長。2016年より専修大学学長。2011～2013年税理士試験委員。2013～2016年日本会計史学会会長。専門は会計史。主な著書に「近代イギリス鉄道会計史—ロンドン・ノースウェスタン鉄道会社を中心に—」ほか。

■高橋 英弘

京都産業大学法学部教授。法学修士。1989年4月京都産業大学法学部専任講師、同大学法務研究科教授を経て、2018年4月より現職。専攻は民法、医事法、消費者法。近時の著書として、『基本講義消費者法（第5版）』（共著）。

■吉田 雅也

淑徳大学経営学部観光経営学科学科長・教授。青山学院大学大学院国際マネジメント研究科国際マネジメント専攻修了。経営管理修士（専門職）。株式会社東急ホテルチェーン（現：東急ホテルズ）、コンラッド東京、パレスホテル東京での実務経験を経て、2015年より明海大学ホスピタリティ・ツーリズム学部准教授。2017年より現職。

■森 泰三

ノートルダム清心女子大学文学部現代社会学科教授。2006年岡山大学大学院自然科学研究科博士後期課程資源管理科学専攻修了。博士（環境理工学）。専門は都市地理学、GIS、社会科教育法で、30年あまり岡山県の公立中学校及び高校に勤務のち2020年より現職。著書に「GISで楽しい地理授業—概念を理解する実習から課題研究ポスターまで—」。

■木下 勇

大妻女子大学社会学部情報学部教授、千葉大学名誉教授、工学博士。東京工業大学で建築を学び、1984年に博士号学位取得。世田谷区にて冒険遊び場づくりの支援とともに三世代遊び場マップづくりや子どもも参加のまちづくりを進める。社団法人農村生活総合研究所研究員を経て1992年より千葉大学園芸学部で教鞭をとり、2020年3月に定年退職。4月より現在に在る。日本ユニセフ協会子どもにやさしいまちづくり事業委員会会長、こども環境学会副会長など歴任。2020年9月まで日本学術会議連携会員として子どもの成育環境分科会長を務め提言をまとめた。著書に『ワークショップ～住民主体のまちづくりへの方法論』、『遊びと街のエコロジー』、『三世代が遊び場図鑑』、『アイデンティティと持続可能性』など。

■鈴木 夏代

東京女子大学現代教養学部特任准教授。早稲田大学大学院教育学研究科博士課程修了(Ph.D. Education)。英語教育の質的向上のため、理論と実践をつなぐ応用言語学の観点からICT活用の教授法をはじめ、言語教育の発展に向けた研究に取り組んでいる。

■小池 裕也

明治大学理工学部応用化学科専任准教授。博士（工学）。2005年明治大学大学院理工学研究科工業化学専攻博士後期課程を修了。その後、東京大学大学院工学系研究科研究機関研究員、東京大学アイトワー総合センター助手、助教を経て、2011年明治大学理工学部専任講師と着任。2022年より専任准教授。基礎化学実験主任として基礎化学実験を総括し、教育と安全の質の向上に取り組んでいる。

■小川 熱人

明治大学理工学部応用化学科専任准教授。博士（工学）。2011年東京工業大学大学院生命理工学研究科生体分子機能工学専攻博士後期課程を修了。その後、早稲田大学理工学部院助手、東京工業大学大学院生命理工学研究科生物プロセス専攻助教を経て、2016年明治大学理工学部応用化学科専任講師として着任。2021年より専任准教授。専門は有機合成化学、医薬薬化学、香料化学。

■金野 祥久

工学院大学工学部教授。1999年東京大学大学院工学系研究科博士後期課程修了。博士（工学）。技術士（機械部門）、東京大学大学院工学系研究科助手、運輸施設整備事業団運輸技術研究員、海上技術安全研究所特別研究員を経て、2002年工学院大学工学部講師。Visiting Professor (Norwegian University of Science and Technology、2016年4月～2017年3月)。現在、北極域研究加速プロジェクト (ArCS III) の北極航路課題の研究課題代表者を務めている。

■谷口 友帆

名古屋学芸大学メディア造形学部准教授。名古屋市立大学大学院芸術工学研究科博士課程前期修了、修士（芸術工学）。2008年名古屋学芸大学メディア造形学部助手。2013年より現職。専門は体験のデザイン。ICTを活用した教育現場の改善、オンライン遠隔授業を支援する遠隔授業プロジェクトなどに携わる。拡がりをみせる「デザインのこれから」を学部専門領域「デザインプロデュース領域」での教育を通じて研究している。

■穴田 有一

北海道情報大学教授。工学博士。1976年北海道大学工学部応用物理学専攻卒業。1981年北海道大学大学院工学研究科博士後期課程応用物理学専攻単位取得退学。1981年日本ゼオン株式会社勤務。1982年10月より国立苫小牧工業高等専門学校教授を経て、1994年北海道情報大学助教授、2002年より同教授。2005年から2021年まで学生相談室長、学習支援センター長、教養部長を歴任。2005年クロード・ベルナル・リヨン第一大学（フランス）客員教授、2021年から2023年までUSCI大学（マレーシア）客員教授を兼任。専門は高分子物理学の他、物理学教育、グローバル人材育成教育。2015年グローバル人材育成教育学会論文賞受賞。著書は『運動と物質—物理学へのアプローチ—』共立出版(2000)、『基礎から学ぶデータ構造とアルゴリズム改訂版』共立出版(2022)他。

■西 誠

金沢工業大学基礎教育部数理・データサイエンス・AI教育課程教授。博士（工学）。専門は数理教育、教育工学、学習分析。1986年より金沢大学・機械システム工学科・精密加工学講座、金沢工業大学・基礎実

技教育課程、金沢工業大学・数理基礎教育課程教授を経て現職。数学教育学会、教育工学学会、科学教育学会、リメディアル教育学会等の会員。

■角田 和巳

芝浦工業大学工学部機械工学科教授、教育イノベーション推進センターIR部門長。1993年東京工業大学大学院総合理工学研究科エネルギー科学専攻博士課程修了。1993年芝浦工業大学工学部機械工学科に講師として着任後、2003年同学助教授を経て2008年から現職。2012年～2018年芝浦工業大学学術情報センター長。博士（工学）。専門は流体力学、エネルギー変換工学。

■高橋 大輔

共立女子大学建築・デザイン学部建築・デザイン学科教授。1999年東京電機大学大学院工学研究科博士後期課程修了。博士（工学）。一級建築士。1999年国立小山工業高等専門学校建築学科講師、助教授。2007年より家政学部建築・デザイン学科専任講師・准教授・教授。2023年より学部新設に伴い、建築・デザイン学部建築・デザイン学科教授、調布市まちづくりプロデューサー。主な著書に『小さなまちづくりのための空き家活用術』（共著、2017年、建築資料研究社）、『通りからはじまるまちのデザイン』（共著、2019年、建築資料研究社）『住まいの百科事典』（共著、2021年、丸善出版）

■由良 亮

中京学院大学短期大学部健康栄養学科准教授。2009年新潟大学大学院自然科学研究科博士後期課程中途退学（修士・農学）。1998年より新潟県南生試験所、民間企業（食品加工会社開発職・システムエンジニアなど）などを勤務。2004年から2014年大学教員として勤務。2015年新潟県三条市にて市立大学設立準備の専門員として勤務。2016年より現職。2017年より同栄養学教育FDICT活用研究委員会委員。研究テーマとしては職人等の手工芸技術のICTによる「見える化・模倣・再現」。

■茂原（吉名）佐和子

東京女子医科大学医学部、分子細胞生理学教室、講師。東京薬科大学生命科学研究科博士課程修了。博士（生命科学）。東京女子医科大学医学部第2生理学教室助教を経て現職。日本生理学会評議員、認定エデュケーター。

■大久保 真衣

東京歯科大学歯学部准教授。1999年東京歯科大学卒業、2003年昭和歯科大学大学院歯学研究科（口腔衛生学専攻）修了、2003年昭和歯科大学歯学部歯科放射線学教室員外助手、2004年東京歯科大学歯学部放射線学講座病院助手。2005年東京歯科大学歯科放射線学講座助手、2011年東京歯科大学千葉病院摂食・嚥下リハビリテーション・地域歯科診療支援科講師、2015年英国クィーンマーガレット大学に研究留学、2017年東京歯科大学口腔健康科学講座摂食嚥下リハビリテーション研究室准教授。

■守 真太郎

弘前大学数理データサイエンス教育センター長・理工学研究科教授。1996年東京大学理学系研究科博士課程修了・博士（物理学）。1996年フランス国立研究所CEA客員研究員。1997年北里大学理学部物理学講師。2017年弘前大学理工学研究科数物科学科教授。2021年弘前大学数理データサイエンス教育センター長。

■玉田 嘉紀

弘前大学大学院医学研究科附属健康・医療データサイエンス研究センター長、医学研究科教授。2005年京都大学大学院情報学研究科博士後期課程修了・博士（情報学）。2005年統計数理研究所助手。2006年民間創業スタートアップ企業シニアリサーチャ。2008年東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター 特任助教。2011年東京大学大学院情報理工学系研究科助教。2016年東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター 特任講師。2018年京都大学大学院医学研究科特任准教授。2020年弘前大学健康未来イノベーションセンター教授。2023年弘前大学医学研究科附属健康・医療データサイエンス研究センター長・教授。

■徐 昶哲

弘前大学数理データサイエンス教育センター、教育推進機構・教育戦略室助教。2020年千葉大学大学院博士課程修了・博士（学術）。2020年関西学院大学博士研究員。2021年弘前大学教育推進機構助教。

■青木 悠樹

群馬大学数理データ科学教育研究センター教授、同センター長。1999年東京工業大学理学部中退。2004年東京工業大学理工学研究科博士後期課程修了。博士（理学）。米国ラトガース州立大学ポスドク、東京工業大学総合理工学研究科助教を経て、2014年までは物性物理に従事。2014年より群馬大学教育学部講師に着任し教育工学に従事。2019年同准教授を経て2022年より現職。

■鈴木 裕之

群馬大学数理データ科学教育研究センター教授。1998年東京工業大学工学部電気電子工学科卒業。2003年東京工業大学総合理工学研究科博士後期課程中退。博士（工学）。2006年東京工業大学像情報工学研究施設（2010年より像情報工学研究所、2018年より科学技術創成研究院へと組織変更）助教、2020年群馬大学数理データ科学教育研究センター准教授、2023年より現職。生体認証、情報セキュリティ、医療情報システム、医用画像処理、光情報処理の研究に従事。

■後藤 仁志

豊橋技術科学大学情報メディア基盤センター教授、学長特別補佐（DX推進担当）、IT活用教育センター長、コンフレックス株式会社取締役。1993年北海道大学大学院理学研究科博士後期課程修了、博士（理学）。JSPS特別研究員（PD）、1996年東北大学反応化学研究所助手、1998年豊橋技術科学大学知識情報工学専攻助教授、2020年より現職。専門分野：計算化学、ケモインフォマティクス、機械学習による予測システム。2019年IMPRESS DX AWARDS「野菜の市場価格をAIで予測するためのアルゴリズム」。2014年日本コンピュータ化学学会賞。監訳・翻訳として「計算化学第3版」森北出版2023年。

* 本欄はお書きいただいた資料からできるだけ統一し、掲載しました。